



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2015年11月①号

議会報告

閉会本会議で、2014年度決算に対して、玉本なるみ市議は反対討論を行いました。（10月29日）

市長は、市民の声に聞く耳をもたず、強引な市政運営をすすめています。

学校を統廃合し、その跡地は地域の財産として、医療や福祉など地域の密着した施設づくりや地域行事の拠点、防災上の避難所などとして活用されてきました。ところが、2期目からは、その大切な市民の財産である土地を民間の儲けに差し出そうとしています。東山区の元清水小学校の跡地ではホテルまたはブライダルという事業条件のもとで業者選定作業を進めています。

子どもの医療費助成制度では、京都府内では、京都市以外はすべて市町村として上乗せを行い、通院も多くの自治体で中学校卒業までほぼ無料にしています。京都市は最も遅れた状況になっています。

70歳以上の高齢者の方から大変喜ばれている**敬老乗車証**も、1回乗るごとに100円程度の負担を強いる応益負担に変えようと検討しています。

市内でたった25園しかなかった**公立保育園は民間に移管**を進めています。公立保育園は途中入所の子どもや障害のある子どもを積極的に受け入れてきました。

有料ごみ袋の収益は毎年13億円近くあるのに、ゴミ袋代を値下げせず、環境教育とは関係ない**展望台**を2.5億円もかけて、南部クリーンセンターに作ろうとしています。

市長は、選挙で選出された政治家です。**政治姿勢**が問われます。国会で強行採決された**安保法制**は、国民的大事態であり、市民にとっても無関係ではありません。その安保法制について、わが党議員が、法の違憲性についての認識を質したところ、市長は応えず。戦後70年の歴史認識については、答弁はしましたが、「国政の対立を地方議会に持ち込み、白黒つけようとしているのはどうか」と無責任な態度を示しました。しかも自ら、改憲団体に憲法の議論は大事だとして、祝電まで打っていました。**改憲をすすめる団体を激励**することは、重大な問題です。自治体の首長として、最も憲法を遵守しなければならない立場にあり、国に安保法制が違憲であることをはっきりとものをいう姿勢が求められます。

◆四条通りの歩道拡幅工事について

我が党議員団は車の流入規制なしに実施すべきではないと提案してきました。市民の声を聞かず、歩道を広げるために、4車線を2車線に減らし、バス停でバスが停車すると、後続車は発車まで待たなくてはなりません。しかし、待ってられず、真ん中の緊急車両用のゼブラゾーンを車が追い越していきます。強行に進めてきたことが、今回の混乱の大きな要因であります。



危ない！緊急車両用の真ん中のゼブラゾーンを車が追い越してきます。

つづやき：過労死等防止対策推進シンポジウム

昨年6月に制定され、11月に施行された『過労死等防止法』は遺族や支援者の皆さんの粘り強い運動が、国会議員を動かし超党派での議員立法が提案され、全会派一致で可決されました。毎年11月は強化月間とされています。遺族の方のお話しや医師、研究者の方のお話しに加え、多くの遺族の方が発言されました。自死と言うことで、保険金がありなかったり、労災認定されない上に、幼子を抱えて母子家庭になり苦労されている方もおられました。中学校の教諭になった息子さんが、部活の担当で月1回ぐらいしか休みはなく、毎日23時や24時にしか帰ってこない。過労死にならないか心配との発言もありました。法律はできても働き方としては、非正規労働が増えています。本気で、労働規制をやらないと過労死はなくなりません。



先日、高校のブラスバンド部の女子の同窓会があり参加しました。なんと、卒業後35年ぶりという方もありました。しかし、そのブランクが吹っ飛ばのように、高校時代のようになじりあがり、懐かしい話と今の話にも盛り上がりしました。6月にあった方もありました。その時は孫ができたことと喜んでいたので、今回お孫ちゃん大きくなったので、今回お孫ちゃん大きくなった？と聞いたたら、なんと離婚して、孫にも会えなくなったと落ち込んでいました。ほんと、人生いろんなことが起きますね！

仲間の中には25歳に事故で亡くなった方もあります。イギリス人と結婚して、イギリスに住んでいる方もあり、一週間休みが取れたら、みんなでお金たためて行こう！と盛り上がりまし。さあ、実現するかどうかは...

同窓会
アンテナ
やっぱりいろいろあります...



